

用語解説

あ行	
ICT	Information and Communication Technology の略で、IT（情報技術）に、コミュニケーション（通信、意思疎通）の概念を加えたもので、ネットワーク通信により知識や情報を共有すること。
一億総活躍社会	第3次安倍晋三改造内閣の目玉プラン。少子高齢化に歯止めをかけ、50年後も1億人を維持し、国民一人ひとりが活躍できる社会を目指すもの。
イノベーション	新しいものを生産する。あるいは既存のものを新しい方法で生産すること。
AI	Artificial Intelligence の略で、人工知能のこと。
NPO	様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対して収益を分配することを目的としない団体の総称。
か行	
グローバル	世界的規模、包括的な意味のこと。
協働	市民、自治会・町内会、ボランティア団体、NPO、事業者、企業、市などのさまざまな主体が、公共の利益に資する同一の目的をもって取り組むまちづくり活動に対し、対等の立場で連携の上、協力及び協調して取り組むこと。
合計特殊出生率	1人の女性が一生の間に平均何人の子どもを産むかを示す指標で、15歳から49歳までの女性の年齢別出生数を合計した数値。
交通インフラ	道路や鉄道などの整備状況を意味すること。
交流人口	地域に訪れる人のこと。定住人口に対する概念。
コミュニティビジネス	市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決する取り組み。
さ行	
財政危機宣言	合併当初、税収入の減少や三位一体の改革による国庫補助金や地方交付税等の削減の影響により、合併による削減効果では収支のバランスが保つことが困難となるため、平成18年3月に宣言を行った。
CO ₂ 排出ゼロ都市宣言	風力発電などの再生可能エネルギーのさらなる推進と市民と一体となって、節電や省エネルギー対策に取り組み、地球温暖化防止に貢献していくため、平成26年9月に宣言を行った。

自主防災組織	主に自治会など、地域住民が日常生活上の一体性を感じられる区域を基礎単位として結成された、災害による地域の被害を予防・軽減するための活動を行う組織。
シティプロモーション	地域の魅力を喚起し、市の知名度やイメージを向上させる活動のこと。
シビック・プライド	個々人がまちに抱く誇りや愛着のこと。
生涯学習都市宣言	市民が自ら生涯学習で学んだ結果、「生涯学習社会の実現」と「協働のまちづくり」に活かすことを目的に、平成19年11月に宣言を行った。
生活習慣病	不適切な食事、運動不足、ストレス過剰や休養の不足、喫煙、飲酒等の生活習慣に起因すると考えられる病気のこと。代表的な生活習慣病としては、脳血管疾患、心疾患、糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満等がある。
相互扶助	互いに助け合うこと。
た行	
種田山頭火	(たねだ さんとうか 1882年12月3日～1940年10月11日) 山口県出身の俳人。「まつすぐな道でさびしい」や「分け入つても分け入つても青い山」など多くの俳句を詠んでいる。
たるむ	潮の満ち引きが止まった状態で、波が無い状況のこと。
男女共同参画社会	男女が社会の対等な構成員として、互いにその人権を尊重し、ともに責任を担いつつ、性別にとらわれることなく、あらゆる分野でその個性と能力が発揮できる社会。
地域コミュニティ	地域住民が生活している場所、すなわち消費、生産、労働、教育、衛生・医療、遊び、スポーツ、芸能、祭りに関わり合いながら、住民相互の交流が行われている地域社会。
地域包括ケアシステム	高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるような、地域の包括的な支援・サービス提供体制のこと。
地産地消	国内の地域で生産された農林水産物を、その生産された地域内において消費する取り組み。
地方分権	国がもっている地方に関する決定権や仕事をするために必要なお金を地方(市町村と県)に移して、住民に身近な行政サービスをその地域で決められるようにすること。
DMO	Destination Management Organization の略で、経営の視点を持ち、魅力ある観光地域づくりを主導的かつ持続的に推進し、新たな観光市場を創造する組織のこと。

は行	
ばってら	小船のこと。外来語（ポルトガル語）。
バリアフリー	高齢者や障がいのある人などが行う諸活動に不便な障壁（バリア）を取り除くこと。
伴田	江戸時代の平戸の商家。
平戸市ずっと住みたいまち創出条例	少子高齢化や若者世代の流出等による人口減少に対応するため、魅力あふれる産業の振興を促進するとともに、次代を担う子どもたちを健やかに育成するため、市民、市民活動団体、事業者及び市が一体となり、将来の定住人口の維持と市民がずっと住みたいと思えるまちをつくるため、平成27年3月に制定。
藤原 洸	（ふじわら こう 1898年9月1日～1979年3月13日）平戸市出身の作詞家、詩人。ラジオ体操第1の前に流れる「ラジオ体操の歌」や「別れのブルース」（歌：淡谷のり子）、「河童ブギウギ」（歌：美空ひばり）など多くの作詞を手掛けた。
ふるさと納税	地方自治体への寄付を通じて、地域創生に参加できる制度のこと